

特集

JAグループ福島 GAP推進状況について

平成29年5月福島県内堀知事と大橋会長による「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」より約9ヶ月が経ちました。全国からも福島県のGAP認証取得に向けた動きについて高い関心を頂いている状況となり、現在のJAグループ福島の推進状況についてご報告いたします。

「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を受け、福島県農業協同組合中央会による「JAグループ福島第三者認証GAP取得推進方針」の策定と並行して、県内各JAでもGAP認証取得に向けた活動が始まりました。平成30年2月現在の活動状況は以下のとおりです。

＜JAふくしま未来＞

JA本店主導で「ももGAP部会」「なしGAP部会」「果樹GAP部会」「水稲GAP部会」「きゅうりGAP部会」「野菜GAP部会」の5部会を設置しました。もも、なし、果樹の3部会が3月後半の審査に向けて1～2月に内部監査を実施しました。

＜JA福島さくら＞
たむら地区本部トマト専門部会が平成28年度より取得に向け活動

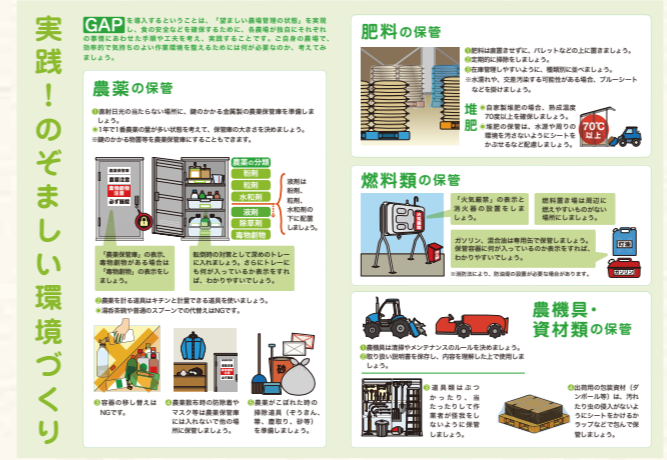
中です。2月後半の審査に向け2月中旬に内部監査を実施しました。ほか同じくたむら地区本部内で2件の農場が個別認証を取得予定(1～2月審査終了)です。

＜JA夢みなみ＞
しらかわ地区TCTマト班、あいがも米班、すかがわ地区大東支部直販部会等、各地区でGAP取得に向け活動中です。TCTマト班は2月上旬に審査が終了しました。あいがも米班は3月に審査が予定されています。

＜JA東西しらかわ＞
個別認証取得希望者を中心とした活動中です。

＜JA会津よつば＞
猪苗代稲作部会が活動中で、1月より園芸部門でも団体認証に向けた活動を開始しています。

どのJAも特に団体認証向けマニュアル作成には苦勞をしている状況です。そこでマニュアルができるまでにGAP取得希望の生産者の皆さんに実施して頂くことをまとめたパンフレット「GAP実践帳」はじめの「一歩」を作成しました。内容は、GAPを始める時にま



ず実施して頂く整理整頓を中心としたGAPの形づくりとなっておりま

す。JAのGAP指導員の皆さんには、このパンフレットを持参しGAP指導に取り組んで頂きたいと思

います。

※GAPとは・・・GAP (Good Agricultural Practice：農業生産工程管理)とは、農業において、食

品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

これを我が国の多くの農業者や産地が取り入れることにより、結果として持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保が期待されます。(農林水産省ホームページより)

JA全農北日本くみあい飼料株

くみあい代用乳・牛初乳代用乳等をご利用の皆様へ 飼料添加物変更のお知らせ 硫酸コリスチンの許認可取り消しに伴う変更

1. 経過と情勢

硫酸コリスチンは配合飼料に添加される抗菌性飼料添加物です。コリスチンには、大腸菌やサルモネラなどを含む、グラム陰性菌と呼ばれる菌を抑える働きがあります。

配合飼料の一部には、病気の治療ではなく成長を促進する目的で、硫酸コリスチンの添加が行われています。家畜飼料でコリスチンを使用していることでコリスチン耐性菌が生まれると、コリスチンが効かない可能性があるため、国は配合飼料への硫酸コリスチンの使用を中止する方針を決めました。

2. 飼料でのコリスチン使用の中止

家畜でのコリスチン耐性菌の出現を避けるため、飼料添加物として硫酸コリスチンを使用することができなくなりました。

平成30年4月1日より飼料工場でコリスチン入り飼料の製造中止
平成30年7月1日より農場現場でコリスチン入り飼料の給与中止

3. 養牛用飼料について

(1) 対象銘柄・牛用代用乳全銘柄(さいしよのミルクも含む)
平成30年3月28日まで、コリスチン入り代用乳を製造します。
平成30年3月28日～4月1日は工程ク

リーニングを行います。

平成30年4月2日より機能性天然原料入り代用乳を製造します。

省令改正に伴い、硫酸コリスチンが添加されている牛用代用乳は、7月以降使用禁止となります。家畜への給与はもちろ

ん、農場での所有が禁止となります。この件に関連した罰則が設けられるため、ご注意ください。

尚、返品への対応は致しかねますので、過剰在庫とならないようお気をつけください。

4. 養豚用飼料について

(1) 対象銘柄・豚人工乳、豚A段階
平成30年3月中旬にコリスチンの在庫終了次第製造を切り替えます。

(2) 切り替えスケジュールと内容
平成30年3月中にコリスチンの在庫終了次第製造を切り替えます。

人工乳(HP子豚シリーズ、ヘルシービッグシリーズ)はハーブ抽出物(表示上は「着香料」)を新たに採用します。

A段階には酪酸ナトリウムを新たに採用します。



5. 養鶏用飼料について

(1) 対象銘柄・採卵育すう飼料(パワーチックZK餌付、前期、中期)プロイラー向け飼料の一部
平成30年2～3月にコリスチンの在庫終了次第製造を切り替えます。

(2) 切り替えスケジュールと内容
平成30年2～3月にコリスチンの在庫終了次第製造を切り替えます。



お問い合わせは、JA全農北日本くみあい飼料(株)福島営業所 まで